

- 問1 日本の諸地域の気候区分において、北海道の札幌市などで見られる、冬の寒さが厳しく1月の平均気温が氷点下になる気候帯の名称として適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|------------|-------|--------|
| 1. 温帯 | 2. 冷帯（亜寒帯） | 3. 熱帯 | 4. 乾燥帯 |
|-------|------------|-------|--------|
- 問2 旭川市周辺において、昭和から平成にかけて田畑や空き地が住宅地や発電所へと変化した現象について、その背景にある社会的な要因として最も適切な説明はどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 都市化の進展に伴い、居住空間の確保やエネルギー供給の必要性が高まったため。 | 2. 食料自給率を向上させるために、都市部の建物を壊して農地を拡大する政策がとられたため。 | 3. 自然環境を保護するために、市街地の面積を昭和初期の規模にまで縮小させたため。 | 4. 交通網の衰退により、郊外からの人口流出が激しくなり、土地が放置されたため。 |
|--|---|---|--|
- 問3 北海道北部の利尻島・礼文島において、地域の産業を持続させるために行われている取り組みの背景と内容として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 昆布の需要減少に対応するため、漁場をすべてレタスなどの大規模な野菜工場に転換する計画が進んでいる。 | 2. 土壌の性質を改善することで、生産額が減少したサトウキビに代わる新たな特産品の開発が進んでいる。 | 3. 高齢化による労働力不足を補うため、昆布養殖や漁業の技術を伝える後継者の育成・支援が行われている。 | 4. 観光客の減少を食い止めるため、閉山した金山の坑道を再活用したテーマパークの建設が進んでいる。 |
|--|--|---|---|
- 問4 北海道の石狩平野において、かつて広範囲にわたって見られた、水分を多く含み植物の遺体が分解されずに積み重なってできた土地を何といいますか。この土地はもともと農業には適さない湿地帯でしたが、客土などの土地改良により現在は大規模な稲作地帯となっています。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-----------|----------|--------|
| 1. 泥炭地 | 2. カルスト地形 | 3. シラス台地 | 4. 干拓地 |
|--------|-----------|----------|--------|
- 問5 日本の農業に関する統計データにおいて、北海道が他の地方と比較して圧倒的に高い数値を示している二つの項目の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 総農家数に占める兼業農家の割合と、一人あたりの労働時間 | 2. 単位面積あたりの農業従事者数と、一人あたりの肥料使用量 | 3. 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数 | 4. 農業従事者一人あたりの農薬使用量と、一人あたりのビニールハウスの面積 |
|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
- 問6 北海道の十勝平野などで見られる、一つの耕地をいくつかの区画に分け、年度ごとにジャガイモ、小麦、てん菜（ビート）、豆類などの異なる作物を順番に栽培する農業手法を何といいますか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1. 輪作 | 2. 二期作 | 3. 二毛作 | 4. 転作 |
|-------|--------|--------|-------|
- 問7 北海道の内陸部における気温や降水の特徴を説明した内容として、正しいものはどれですか。（2025年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 海の影響を受けにくいため、夏と冬の気温差（年較差）が非常に大きく、冬の月平均気温は氷点下になる。 | 2. 季節風の影響で冬に降水量（降雪量）が集中するが、海に囲まれているため一年を通じて気温の変化は小さい。 | 3. 暖流である対馬海流の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、雪が降ることは稀である。 | 4. 一年を通じて降水量が多く、特に夏から秋にかけては台風の影響を頻繁に受けるため、年平均気温が高い。 |
|---|---|--|---|
- 問8 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|---------|-----------|-----------|
| 1. 東南アジア諸国連合 | 2. ユネスコ | 3. 世界貿易機関 | 4. 国連児童基金 |
|--------------|---------|-----------|-----------|
- 問9 北海道の農業において、十勝平野などを中心に大規模に栽培されている「てんさい」の生産背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 水はけのよいシラス台地の特性を活かし、寒冷地でも育つよう品種改良された。 | 2. 温暖な気候を好む性質を持つため、夏場の長い日照時間を活かして栽培される。 | 3. 冷涼な気候に適した性質を持つため、日本では北海道が唯一の産地となっている。 | 4. 亜熱帯の気候に適しており、かつては沖縄で栽培されていたものが伝わった。 |
|---|---|--|--|
- 問10 日本の各地域の農業を比較した統計において、北海道は農業従事者一人あたりの農業産出額が約1570万円となっており、他地域の平均である約310万円と比べて極めて高い数値を示しています。このような北海道の農業を支える背景として最も適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 気候が温暖であることを利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて他の地域より出荷時期を早める促成栽培が主流である。 | 2. 傾斜地の多い地形を活かして段々畑を作り、果樹などの高付加価値な作物を少人数で栽培している。 | 3. 都心に近い立地を活かし、限られた土地に多くの労働力を投入して単位面積あたりの収益を上げる集約的な農業を行っている。 | 4. 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。 |
|---|--|--|--|
- 問11 北海道に古くから居住し、自然を敬う独自の文化や独自の言語を持っている先住民族を何と呼びますか。最も適切な名称を選択してください。（2026年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. ラテン民族 | 2. モンゴル民族 | 3. スラブ民族 | 4. アイヌ民族 |
|----------|-----------|----------|----------|
- 問12 北海道の各地域の自然環境について述べた文のうち、網走や紋別などを含むオホーツク海沿岸の特色として最も適切なものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 夏に千島海流（親潮）の上を吹き渡る湿った冷たい風の影響で、濃霧が発生しやすい。 | 2. 対馬海流の影響を強く受け、冬には北西の季節風によって日本海側に大量の雪をもたらす。 | 3. 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。 | 4. 十勝平野を中心に火山灰の土壌が広がっており、大規模な畑作や酪農が行われている。 |
|--|--|---|--|